

令和 8 年度  
施政方針及び当初予算提案説明

令和 8 年 2 月 2 0 日

桶川市

令和8年桶川市議会第1回定例会の開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営に関する基本的な考え方並びに令和8年度予算案及び主要施策の概要をご説明申し上げます。

## 【 はじめに 】

昨年4月の市長選におきまして、市政4期目の重責を担わせていただくことになり、身の引き締まる思いでこの1年間、様々な事業に取り組んでまいりました。引き続き、初心を忘れることなく、市民の皆様の声に耳を傾け、これまで培った経験と実績を基に、桶川市を更に発展させるべく、次のステージへと押し上げていくために、全力で職務を全うしていく所存でございます。

令和7年度を振り返りますと、長期間に渡るプロジェクトとして取り組んでまいりました「道の駅べに花の郷おけがわ」が、令和7年3月に開業いたしました。開業以来110万人を超える多くの方にご来場いただき、新たな賑わいの創出が図られました。また、地元の農商工振興をはじめとする地域活性化の拠点や、新たな魅力発信拠点だけでなく、5月に埼玉県内初の「防災道の駅」として選定されたことで、万が一の災害時には、道路利用者等の一時的な避難や、国・県と連携した広域的な防災拠点としての役割も大きく期待されております。更に、桶川駅東口整備や、企業誘致、川島町とのごみ処理広域化に向けた取り組みなど、将来へと繋ぐ未来への投資となる事業につきましても、果敢に挑み着実に前に進めてまいりました。

また現在、我が国では、名目賃金は上昇しているものの、実質賃金の減少が続くなど、急激な物価高騰が市民生活に大きな影響を与えております。

そのような中、本市といたしましては、国の交付金を活用した市の独自事業として、市民一人当たり5千円の「くらし応援商品券配布事業」や、4か月分の「水道基本料金免除事業」など、市民生活や地域経済を守るための取り組みを進めております。

今後につきましても、持続可能なまちづくりを進めながら、新たなス

テージに向けた「桶川市第六次総合計画」の実現と、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の推進に、より一層の努力を重ね取り組んでまいりますので、引き続き、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 【 市政運営に対する基本的な考え方 】

さて近年、特に令和2年からのコロナ禍により、私たちの価値観や生活様式は大きく変化いたしました。また令和4年からは、コロナ禍からの需要回復に加え、ウクライナ情勢や、記録的な円安による輸入価格の高騰などによる深刻な物価高が、今もなお市民生活に大きな影響を与えております。そのような中、市民生活を守るために市としても様々な取り組みを行い、可能な限り市民サービスの維持向上に努めてまいりました。

更には、ごみ処理の広域化や、東側地区子育て施設整備事業、日出谷地区公共施設整備事業等、将来に向けた各種事業に着手している所でございます。

しかしながら現在の急激な物価高騰を考えますと、今後、更に人件費や資材価格の高騰による工事費の上昇も懸念されることから、中期的な財政運営を念頭に、大胆かつ計画的に市政改革を推進するための「桶川市行財政改革推進本部」による議論を、庁内で始めたところでございます。

令和8年度の市政運営にあたりましては、「将来に向け、持続可能なまちづくりを推進するための取り組み」と「将来の負担軽減を図るような取り組み」といった、いわゆる攻めと守りの経営バランスを図りつつ、様々な取り組みを柔軟に進める必要がございます。

当初予算の編成に当たりましては、5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」、そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、限られた財源の中で効果的に施策を展開できるよう編成したところでござ

ざいます。

## 【財政環境と予算編成の基本的な考え方】

続きまして、市政を取り巻く財政環境と令和8年度予算編成に当たりましての基本的な考え方を申し上げます。

国による経済見通しでは、令和8年度の我が国の経済は、所得環境の改善が進む中で、個人消費が増加するとともに、危機管理投資・成長投資の取り組みの進展等により、引き続き国内需要中心の経済成長となるとされております。

令和7年12月26日に閣議決定された国の令和8年度予算案の一般会計予算は、引き続き国税収入の増額を見込むなど、前年度比6.2%増の122兆3,092億円となっております。

また、地方自治体の予算編成の指針となる地方財政対策等におきましては、物価高が続くとともに、社会保障関係費や人件費の増加等が見込まれる中、様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、前年度を上回る一般財源総額が確保されたところでございます。

このような中、本市におきましては、歳入の根幹をなす市税収入を、前年度比較で1.6%の増額と見込んでいるところでございます。一方で、歳出では賃金上昇を背景とした公定価格の増加等により、社会保障関係費が大幅に増加していることや、人事院勧告等に伴う給与改定により人件費が増額となっております。

この様な社会情勢を背景とした、歳出の義務的経費の増大により厳しい財政状況にありますが、引き続き「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を推進するため、子どもから高齢者まで多くの市民の皆様が安心して生活を送ることができるよう、必要な予算措置を講じたところでございます。

## 【令和8年度予算案の概要】

令和8年度の予算案は、これまで申し上げました考え方に立って編成したもので、その規模は、

一 般 会 計	2 8 8 億 7 , 4 0 0 万 円 (前年度比 0 . 8 % 減)
国民健康保険特別会計	7 1 億 5 , 0 0 0 万 円 (前年度比 0 . 6 % 増)
介護保険特別会計	7 5 億 4 , 8 0 0 万 円 (前年度比 6 . 1 % 増)
後期高齢者医療特別会計	1 5 億 9 , 7 0 0 万 円 (前年度比 1 2 . 9 % 増)
公共下水道事業会計	2 1 億 4 , 0 6 7 万 8 千 円 (前年度比 1 3 . 6 % 増)

となりました。

それでは、一般会計予算案の概要につきましてご説明申し上げます。  
はじめに、歳入でございます。

市税につきましては、令和7年度の決算見込みや経済動向などを参考に、前年度比1.6%増の112億7,514万1千円を計上いたしました。

地方譲与税から地方特例交付金までにつきましては、国から示される地方財政対策や決算見込みなどを参考にそれぞれ計上いたしました。

地方交付税につきましては、令和7年度の算定額や地方財政対策などを参考に、前年度比7.9%増の42億4,000万円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、障害者自立支援給付費負担金は増額しているものの、デジタル基盤改革支援補助金の皆減などに伴いまして、前年度比3.1%減の50億7,711万6千円を計上いたしました。

県支出金につきましては、学校給食費負担軽減交付金の皆増などに伴いまして、前年度比7.7%増の22億6,622万4千円を計上いたしました。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金及び公共施設等総合管理基金繰入金などの減少に伴いまして、前年度比13.0%減の9億7,102万9千円を計上いたしました。

市債につきましては、鴨川保育所大規模改修事業債及び、中学校体育館空調設備等整備事業債の皆減などに伴いまして、前年度比45.8%減の9億7,620万円を計上いたしました。

次に、歳出につきましては、「桶川市第六次総合計画」における政策の体系に沿って、当初予算案における主要事業の概要をご説明申し上げます。

## 1 生きる力と豊かな心を育む 桶川 【教育・文化に関する分野】

子どもたちの創造性を育む教育や誰もが生涯にわたる学びを通じ、地域の自然や文化に触れ、個性や価値観を認め合いながら、生きがいを持って豊かな人生を育むことができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、学校教育の充実につきましては、近年、増加している不登校や個別の配慮が必要な児童生徒のため、これまで小中学校8校に設置しておりました学習支援室につきましては、新たに小学校3校に設置し、支援の充実を図ってまいります。また、近年の記録的猛暑などを鑑みて、安心・安全・快適に学習できる教育環境の実現を目指し、市内全ての小・中学校特別教室への空調設備の整備を進めるため、令和8年度は中学校4校の工事を予定するとともに、小学校4校の設計を実施してまいります。さらに、現在、市内全中学校で実施している学校プール民間委託を小学校2校にも拡大し、年間を通して安定的に水泳授業を実施してまいります。

次に、生涯学習・生涯スポーツの充実につきましては、施設の老朽化等に対応するため、舎人スポーツ・パークのテニスコート改修工事のほか、近年人気の高いスケートボードなどのニュースポーツに親しんでいただけるエリアを新たに整備するなど、施設利用の促進を図ってまいります。

次に、文化・芸術の振興・保存・継承につきましては、文化活動の発表の場としまして、市役所1階の市民ギャラリーの更なる活用や、「お

けがわ市民芸術文化祭」などを通じまして、引き続き文化芸術の振興を支援してまいります。また、本市の貴重な文化財を保存、継承するため、各種資料の調査や文化財指定を実施するとともに、本市の歴史や文化への興味や理解が深まるよう、歴史民俗資料館での展示や講座など、文化財の積極的な活用を図ってまいります。

次に、人権教育・啓発と平和の推進につきましては、基本的人権を互いに尊重し、あらゆる差別を無くすとともに、平和で明るい社会を築くため、正しい知識を学び、自ら考え行動することができるよう継続的な人権教育の推進と平和が尊重される社会づくりを進めてまいります。

## 2 共に支え合い いきいきと暮らせる 桶川 【健康・福祉に関する分野】

市民の健康づくりに対する支援や、保健・医療・介護体制の充実、子育て支援、障害者の自立支援などの充実を図り、住み慣れた地域で共に支え合い、健康で幸せな生活が続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、健康づくりの推進・医療の充実につきましては、がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を図る胃がん検診について、50歳以上の偶数年齢の希望者に対しまして、内視鏡による検査を選択できるよう実施してまいります。

次に、子ども・子育て支援の充実につきましては、保護者の育児負担の軽減や児童福祉の向上を図るため、様々な事情により、家庭内で子どもの養育が一時的に困難となった場合に、夜間や休日における短期支援の取り組みを進めてまいります。

また、全てのこどもと子育て家庭の支援を強化するため、「乳児等通園支援事業」いわゆる「こども誰でも通園制度」を始めるなど、引き続き安心して子育てができる環境を整備してまいります。

さらに、母子保健のDX推進の一環として、電子版の母子健康手帳を

導入し、妊産婦等へ必要な支援が行われるよう体制強化を図ってまいります。

次に、高齢者支援の充実につきましては、聴力機能の低下によりコミュニケーションが取りにくい高齢者の方に、補聴器の購入費用の一部を補助いたします。

また、高齢者の健康保持・増進、社会参加などを図り、長寿社会の形成に寄与することを目的とする全国健康福祉祭、いわゆる「ねんりんピック」埼玉大会が開催され、本市におきましては、インディアカ交流大会を実施いたします。

次に、障害児者支援の充実につきましては、本年1月から行っている重度心身障害者医療費支給事業の拡充など、障害や難病などがある方々が、地域で安心して生活するために必要な福祉サービスの更なる充実に取り組んでまいります。

次に、自立した生活への支援の充実につきましては、誰もが経済的に自立した生活を送ることができるよう、生活保護制度の適正な運用を図るとともに、引き続き関係機関との連携を図りながら就労支援などに取り組んでまいります。

### 3 安心して暮らし続けられる 桶川

#### 【安心安全・都市基盤に関する分野】

防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実により、市民一人ひとりの生命と財産を守るとともに、生活機能が集積する拠点と交通ネットワークの形成により、生活の利便性を高め、心穏やかに暮らし続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、防災・減災対策の推進につきましては、市民、事業者等が自助・共助・公助の考え方を共有し、主体的に災害に備えるとともに、自発的に行動できるよう、市や地域で行う防災訓練や、防災ガイドブックなどを通じ、意識啓発と地域防災力の向上に努めてまいります。また、新しい防災気象情報の運用開始に対応するため、防災情報集約システム

の改修を行うなど、更なる防災機能の強化を図ってまいります。さらに、市内で消防・防災活動に従事する消防団につきましては、引き続き、消防団員の確保及び女性団員の登用に努めるなど、消防団への支援を強化してまいります。

次に、交通安全対策の推進につきましては、交通安全意識や交通マナーの向上に関する周知・啓発活動に取り組むとともに、道路照明灯のLED化など、引き続き交通安全施設の整備や適切な維持管理を実施してまいります。

次に、治水対策の推進につきましては、大雨に伴う浸水被害などの軽減を図るため、目沢排水路流域などの治水対策を計画的に実施してまいります。また、一級河川江川につきましては、引き続き早期改修を国、県へ強く要望してまいります。

次に、良好な都市環境の形成につきましては、公園利用者のニーズを踏まえた殿山公園の整備を進めるとともに、都市公園の施設長寿命化計画に基づき、城山公園の管理棟の建替えや、その他の都市公園遊具の老朽化に伴う改修工事を実施してまいります。

また、持続可能な下水道事業運営を図るため、ストックマネジメント計画に基づく施設の点検調査を実施し、計画的な改築工事かいちくなどを進めてまいります。

次に、道路の整備・管理につきましては、安心安全な道路環境の形成を図るため、引き続き、愛宕東線ひがしの計画的な整備を推進するとともに、道路の舗装修繕や、狭あい道路きょうの整備、橋りょうきょうの定期点検の結果を基にした橋りょう修繕きょうを推進してまいります。

次に、生活に身近な拠点の形成につきましては、魅力ある中心市街地の形成を図るため、駅東口駅前広場や駅東口通り線などの整備を推進するとともに、南小跡地等につきましては施設整備に向けた民間活力の導入など、最適な事業手法を検討するための調査を実施し、可能な限り事業の前倒しを図るなど、引き続きスピード感を持って、早期の事業完了に向け取り組んでまいります。

また、日出谷地区のコミュニティ拠点につきましては、地域交流や生涯学習、子育て支援機能を備えた公共施設等を、公民連携手法により整

備するため、民間事業者の選定など必要な手続きを進めてまいります。

## 4 環境にやさしく みどりと調和した 桶川

### 【環境・みどりに関する分野】

再生可能エネルギーの導入、ごみの減量化や再資源化、河川や雑木林、公園などのみどりや水辺の保全と活用を図り、人と自然にやさしく、みどり豊かで快適なまちづくりを進めてまいります。

はじめに、地球温暖化対策の推進につきましては、「桶川市地球温暖化対策実行計画」及び「桶川市気候変動適応計画」等に基づき、2050年のカーボンニュートラルを実現するための中間目標として、2030年度までに46%の削減を目指し、地球温暖化に関する意識啓発を図るとともに、省エネ機器の普及や公共施設における再エネ機器の導入など環境負荷の低減に向けた取り組みを推進してまいります。

次に、資源循環型社会の構築につきましては、安定したごみ処理体制を構築するため、川島桶川資源循環組合と連携を図り、引き続きごみ処理の広域化を早期に実現できるよう取り組んでまいります。また、市民等との連携・協力によりごみの排出量抑制や再資源化に取り組むなど、更なるごみの減量化を推進してまいります。

次に、快適で衛生的な地域環境の創出につきましては、良好な生活環境の充実を図るため、生活環境の維持・保全に関する規制の内容等を周知し、意識啓発を図るとともに、騒音や振動、大気汚染などの環境調査や公害の監視などを実施してまいります。

次に、みどり空間の創出につきましては、「第二次桶川市緑のまちづくり基本計画」に基づき、緑化の推進や緑地の保全など緑に関する施策を総合的、かつ計画的に推進してまいります。また、保存樹木等指定奨励金を拡充し、更なるみどりの保全を推進してまいります。

## 5 にぎわいと活力ある 桶川

### 【産業・経済に関する分野】

農業、工業、商業、観光業など、多様な産業の連携や振興を図るとともに、中心市街地の活性化、地の利をいかした企業誘致や施設の立地誘導を図り、住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、農業の振興につきましては、認定農業者の方に対し、農業用機械等の購入費の一部を補助することにより、持続可能な農業経営の安定化に向けた支援を行ってまいります。また、農業振興地域整備計画に基づき、将来にわたる農地の維持発展のために、引き続き農業者や農業者団体を支援し、新規就農者の確保を行ってまいります。

次に、工業の振興につきましては、企業誘致を推進するため、桶川北本IC周辺東部地区において、広域交通網の結節点という地の利をいかした産業基盤づくりに向け、引き続き地権者協議会及び事業者と共に協力し、スピード感を持って事業の早期実現を目指してまいります。

次に、商業の振興につきましては、空き店舗に新たに出店する事業者に対して補助を行い、引き続き空き店舗の利用促進及び活力ある商店街づくりを進めてまいります。また、市内での開業を目指す方に対し、創業支援事業計画に基づき、関係機関と連携した支援を実施してまいります。

次に、観光の振興につきましては、令和7年3月に開業した「道の駅べに花の郷おけがわ」において、地域の魅力を発信するとともに、引き続き農工商の産業振興を推進してまいります。また、新たな観光ガイドブックを活用し、「中山道」や「道の駅べに花の郷おけがわ」などの観光まちづくり拠点を中心に市内周遊を促進します。

以上、市政運営に関する基本的な考え方及び令和8年度予算案の概要を述べさせていただきましたが、引き続き「桶川市第六次総合計画」の将来像である「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市 おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいりる所存でございますので、議員各位並びに市民の皆様

おかれましては、市政に対します、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政方針といたします。